

令和4年11月21日市長記者会見 会議録

< 開催時間 > 14:00～

< 会場 > 庁議室（市役所本館3階）

< 会見案件 > ①12月補正予算案の概要について
②福井市防災ハンドブック(改訂版)の発行について
③子どもの遊び場整備事業について

< 出席者 > 市長、副市長、総務部長、財政部長、財政課長、危機管理課長、公園課長、
道路課長、職員課長、市民課長、子ども福祉課長

< 発表内容 >

【福井市長】

本日は、12月定例会に提出を予定しております補正予算案の概要などについてご説明させていただきます。

今回の補正予算案は、原油価格・物価高騰への対応をはじめ、新型コロナウイルス感染症への対応やその他各種施策を推進するために予算措置が必要となった事業について計上するものです。

補正予算案の規模は、「12月補正予算案の概要」の1ページに記載のとおり、

一般会計で、	36億7,468万円
国民健康保険特別会計で、	6億5,026万9千円
後期高齢者医療特別会計で、	57万4千円
介護保険特別会計で、	6億1,983万6千円
競輪特別会計で、	18億 873万3千円
宅地造成特別会計で、	19万6千円
中央卸売市場特別会計で、	2,915万2千円
集落排水特別会計で、	461万1千円
地域生活排水特別会計で、	13万6千円
水道事業会計で、	5,222万4千円
簡易水道事業会計で、	161万2千円
下水道事業会計で、	482万2千円

追加いたします。

この結果、補正後の予算総額は、

一般会計で、	1,325億3,083万5千円
特別会計で、	786億6,190万6千円
企業会計で、	300億1,665万8千円

全会計では、2,412億 939万9千円
となります。

それでは引き続き、補正予算案の詳細につきまして、財政部長から説明いたします。

【財政部長】

それでは、お手元の資料「12月補正予算案の概要」により、ご説明を申し上げます。

まず、1ページにつきましては、ただいま市長が申し上げました、会計別の総括表でございます。

2ページをお開きください。

これは、一般会計の財源について表したものでございます。

分担金及び負担金で、40万5千円

国庫支出金で、10億9,147万5千円

県支出金で、1億4,724万7千円

繰越金で、23億3,205万3千円

諸収入で、8,000万円

市債で、2,460万円

をそれぞれ追加し、

使用料及び手数料で、110万円

を減額いたします。

3ページをご覧ください。

これは、一般会計の歳出を款別に表しております。

議会費で、101万円

総務費で、7億2,390万8千円

民生費で、6億9,495万2千円

衛生費で、5億1,836万7千円

労働費で、39万円

農林水産業費で、1億3,550万8千円

商工費で、2億2,126万1千円

土木費で、1,370万3千円

消防費で、2,977万円

教育費で、9,836万1千円

災害復旧費で、3,610万円

公債費で、12億 135万円

をそれぞれ追加いたします。

4ページをお開きください。

今回計上しました事業の一覧でございます。

6ページをお開きください。

第一に、「原油価格・物価高騰への対応に関する事業」としまして、新規 1番 福井市子育て世帯応援給付金事業、2億2,266万円です。市独自の給付金として、物価高騰の影響を受けている子育て世帯に対し、家計の負担を軽減するため子ども1人あたり5,000円を支給します。

2番 追加発行 ふくい元気「買い福」キャンペーン事業、2億1,756万7千円です。物価高騰の状況下において、市内の消費を喚起・下支えすることにより、適正な価格設定、健全なサプライチェーンを維持できるよう、デジタルクーポンを追加発行します。

新規 3番 障がい福祉サービス事業所への物価高騰対策支援事業 2,080万1千円 及び、新規 4番 介護サービス事業所等への物価高騰対策支援事業 7,545万円 並びに新規 5番 私立保育園等への物価高騰対策支援事業 1,535万6千円につきましては、燃料費や光熱費、食材料費等の物価高騰の影響を受ける事業所等の負担を軽減し、市民への安定的なサービス提供を図るため、支援金を支給するものです。

8ページをお開きください。

拡充 6番 市産直ECサイト「ふくいさん」機能強化事業 1,427万8千円です。消費が低迷する市内外への需要拡大や、市内農林水産物及び加工品の生産者の所得向上を図るため、市産直ECサイト「ふくいさん」の機能を強化します。

7番 農業者収入保険加入推進事業 187万5千円です。収入が減少するおそれのある農業者の経営安定を図るため、収入保険への加入に係る経費を助成します。

新規 8番 林業物価高騰対策支援事業 396万6千円につきましては、物価高騰の影響による木材及び特用林産物生産者の負担軽減のため、燃料や生産資材の高騰分に対して支援するものです。

新規 9番 漁業機器等導入支援事業 872万円です。新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響により、収入が減少している漁業者に対して、漁船機器等の導入費を支援するものです。

新規 10番 水産業物価高騰対策支援事業 42万3千円です。物価高騰の影響による漁業者の負担軽減のため、漁業用資材の高騰分に対して支援します。

11番 市施設光熱費等高騰対応 2億2,594万4千円です。原油価格や電気・ガス料金等の高騰により予算の不足が見込まれるため、市施設等の光熱費等を補正するものです。

10ページをお開きください。第二に「新型コロナウイルス感染症対応等に関する事業」に係る事業です。

12番 感染症対策事業 4億2,968万3千円です。新型コロナ感染拡大防止のため、感染者の入院時に発生する医療費及び医療機関において実施するPCR等の検査費用を負担するものです。

13番 避難所感染症対策備蓄品整備事業 1,734万2千円です。避難所等において感染症対策に必要な物資を備蓄するものです。

14番 救急活動感染症対策事業 324万1千円です。救急活動において感染対策に必要な資器材の整備を行うものです。

第三に、「国・県の補助金等に伴う事業」です。

15番 地域介護福祉空間整備等補助事業 9,024万円でございます。介護施設等における防災改修事業等に対し支援を行うものです。

16番 県単作業道等機能強化整備事業 122万6千円です。大雨により被災した林業用作業道の復旧を支援するものです。

17番 林道施設災害復旧事業 3,610万円です。大雨により被災した林道を復旧するものです。

12ページをお開きください。第四に、「その他」の事業です。

新規 18番 マイナンバーカード取得促進事業、5,901万3千円です。マイナンバーカードの利便性向上及び未申請者の取得促進を図るため、コンビニ等で発行する証明書等の交付手数料を100円減額するとともに、令和5年1月1日から2月5日までにマイナンバーカードを申請された方に対し、特典クーポン等を配付するものです。

19番 職員給与費の改定 1億3,705万3千円です。国家公務員及び県職員に対する給与改定に関する勧告等の状況を踏まえ、職員給与費を改定するものです。

15ページをお開きください。20番 クリーンセンタータービン発電機不具合緊急対応 7,618万円です。ごみ焼却施設の発電設備の不具合に緊急に対応するため、タービン開放調査等を行うとともに、2炉焼却運転再開のため契約電力の変更及び受電設備を整えます。

21番 団体営土地改良事業補助金 800万円につきましては、土地改良区が行う足羽川頭首工のゲートワイヤーロープ更新を支援するものです。

新規 22番 定置漁業復旧支援事業 7,963万1千円です。突発的な強い潮の流れや台風等により被災した定置網の復旧を支援するものです。

16ページをお開きください。23番 国庫補助金等返還金 5億6,451万9千円です。国庫補助金の超過交付分を

返還するものです。

24番 福井競輪開催事業 18億813万6千円です。車券売上額が当初見込みより大幅に増加し、払戻金等の経費に不足が見込まれることから、事業費を増額します。

25番 地方財政法に基づく決算剰余金の処理 18億135万円です。地方財政法に基づき、令和3年度決算剰余金の2分の1以上の額について、財政調整基金への積立及び市債の繰上げ償還を行うものです。

26番 国民健康保険基金積立金 5億5,000万円です。令和3年度の決算剰余金の一部を、国民健康保険基金に積み立てるものです。

27番 介護給付費準備基金積立金 3億7,809万1千円です。令和3年度の決算剰余金の一部を、介護給付費準備基金に積み立てるものです。

18ページをお開きください。第五に、「債務負担行為の設定」です。

28番 ふくい桜まつり開催事業 4,503万2千円及び29番 愛宕坂にぎわい事業 347万円につきましては、ふくい桜まつりを令和5年3月から実施することに伴い、債務負担行為を設定するものです。

30番 道路舗装事業 7,000万円です。年間を通した切れ目のない工事発注を行うことで、施工時期の平準化を図るとともに、市内建設業者の経営安定化に寄与するため、債務負担行為を設定するものです。

31番 美山楽く楽く亭管理運営事業 2,130万3千円でございます。美山楽く楽く亭の運営及び維持管理に要する費用について債務負担行為を設定するものです。

以上、令和4年度12月補正予算案の概要につきましてご説明させていただきました。よろしくお願い申し上げます。

<質疑応答>

【福井新聞】

今回、物価高騰対策等の色々な支援事業ということで、各種事業を挙げられていましたが、物価高騰で先がなかなか見通せず、非常に苦しい事業者さんもいらっしゃる中で、今後の見通しについてのお考えをお聞きかせください。

【福井市長】

物価高騰への課題は、福井だけの課題ではないので、まず全国的にどのような対応をとっていくのか、国の施策の動きをしっかりと見極め、その上で、県、市町で、どのようなことができるか議論を重ねていく必要があると思っています。財源も限られているので、すべてのことに対応をとるのは難しいですが、可能な限り対応をとっていくことが必要だと思っています。

【福井新聞】

マイナンバーカードについて、国の最大2万円のサービス期間が12月末までということで、1月からの取得促進に市町が各種それぞれ取り組んでいくと思います。国の最大2万円と見比べると、各市町でできることは限界があると思います。その中で、マイナンバーカードを持つことの利便性をアピールしていく必要があると思うのですが、もう一度市長から呼びかけをお願いしたいです。

【福井市長】

現在、マイナンバーカードを持つことで、様々なメリットがあります。例えば、免許証、保険証、図書館の貸出カードなどが一緒になります。従来の各種カードのままだと、免許証の担当は警察、保険証の担当は共済組合、など、手続きに2重3重の手間がかかります。

マイナンバーカードだと、今後はこれらの手続きが、一括で処理できるようになっていくと思います。

国がマイナポイントをつけるというこの時期に福井市もできることはやりながら、進めていきますので、ぜひとも申請をよろしくお願いいたします。

【日経新聞 鈴木】

水産と林業の物価高騰対策を計上しているが、この分野での支援に絞ったねらいを教えてください。

【福井市長】

4年度に入ってから、これまでも6月、9月、12月と物価高騰対策やってきました。全体のバランスを見ながら、今回支援が不足している箇所や手をつけていない箇所などを見極めながら対応をとっています。農業関係については、前回行っており、今回は、前から要望のあった水産業や林業への対策などが整理できたので、この分野になっています。

【日経新聞 鈴木】

林業水産業以外の製造業や観光などの福井市内の経済状況について、年明け以降も含めて見通しを教えてください。

【福井市長】

経済対策については、全国的な問題である。特に今回は、世界的な問題も絡んでおり、明確には言い切れないが、今の円安傾向に対する歯止めも含めて、経済対策の最良手段を見極めるのは難しい状況です。

今のアメリカの経済情勢が動き出すと日本の経済が好条件に変わることもあるので、世界の情勢をしっかりと見極めながら、対応を考えていく必要があります。今は、現在審議中の国の補正予算を見た上で、不足する部分や福井の特質を見ながら、対応していく必要があると思っています。

【日経新聞 鈴木】

観光誘客に関して、特に大きな予算を計上していないが、これは市内の観光誘客の状況が好調であり、支援が必要ないくらい戻ってきていると考えているのか

【福井市長】

支援が必要ないというほど戻ってきているとは思っておりません。しかし、観光誘客についてはこれまでも支援してきおり、その分野だけ特別に支援していくわけにもいかないので、全体的なバランスを見ながら対応いたしました。観光関係は、もう少し（経済状況が）伸びてくれないと、市の思惑を下回ると思う。

【広報課長】

よろしいでしょうか。では、次に進めさせていただきます。財政部長、席の移動をお願いします。

では、市長、引き続きお願いします。

案件②③

【福井市長】

続きまして、福井市防災ハンドブック改訂版の発行についてご説明します。今回、4年ぶりに改訂する防災ハンドブックは「わが家で 地域で 災害にそなえよう」をコンセプトとし、市民の防災意識の向上と自助・共助による防災体制の強化を目的に作成しました。自助、共助への理解を深めていただくため、自然災害への備えや対策、避難する際の留意点、各地区における災害リスク等、最新の防災情報を反映することで、より見やすく分かりやすいものとなっています。

また、避難に配慮を要する方に対する日頃からの心がけや、避難所における感染症対策、ペットを守るための備えに関する情報など、内容を充実させました。さらに、市民が自ら、日頃の備えや災害時における避難行動を確認するためのチェック欄や書き込み欄を設けることで、防災への意識を深めていただくものとなりました。

なお、配布については、今月下旬から年内にかけて順次、自治会等を通じて行います。普段からの備えや、ご家庭

などでの話し合いの際に、各種ハザードマップとともに活用していただきたいと思います。

次に、子どもの遊び場整備事業について、このたび、基本計画がまとまりましたので、報告します。コンセプトは「しろあそび」です。城郭の中心部で遊べるという中央公園の特色を活かし、子どもたちが歴史を身近に感じながら遊ぶことで、地域への誇りと愛着を育みます。また、まちなかを訪れた方にも福井の魅力が伝わる空間を創ります。この基本計画は、子育て世代や若手の職員によるプロジェクトチームが中心となり、子育てや障がい者の関係団体、学識経験者、遊具メーカー等と協議を行い策定しました。こちらの遊び場のイメージパースをご覧ください。

屋根は、遊び場内が明るくなるよう、光を通しやすい素材を採用し、また、雪の多い福井でも耐えられる構造とします。上空から眺めた形は、南側からは福井県、東側からは福いネ!に見えるようになっています。また、ネット遊具をメインとした大きな遊び場を中心に、障がいの有無に関わらず楽しめる遊具を複数設置する予定です。

今後、ホームページや広報紙を通してこの遊び場の基本計画に対し、市民の皆様からご意見やご感想を募集します。年度内には実施設計を行い、令和5年度中の完成を目指します。

最後に、その他として、除雪への協力をお願いします。福井气象台によりますと、この冬の降雪量は、平年並みまたは多い見込みとなっています。大雪のときは、特に、市民一人一人の取組が除雪の大きな力となります。市民の皆さまには、玄関先や歩道の雪かき、不要不急の外出控え、公共交通機関の利用など、『雪国の快適生活7か条』の実践にご協力いただきますようお願いします。

なお、自治会への支援制度として、これまでも自治会等協力路線の除排雪に対して支援する「福井市道路除排雪事業協力金」や「市民雪置き場支援事業」、「小型除排雪購入補助事業」がございしますが、新たな支援制度として、「福井市市民協働除排雪補助金」を創設しました。積雪が90センチを超える大雪時に、地域の除排雪機械を使って道路の除排雪作業を実施した場合に、燃料費等を支援します。

また、今年度は、複数の企業等と協定を結び、大雪時に時差出勤やテレワークを行っていただくことで、効率的な除雪を行いたいと考えています。市では、関係機関と連携し、効果的な除排雪作業を行ってまいりますので、市民の皆さまの除雪へのご協力をよろしくお願いいたします。

私からは、以上です。

< 質疑応答 >

【福井新聞】

中央公園の整備概要のことについて、今回の基本計画は、若手職員のグループが主になって考えたと思いますが、まず、市長の率直な感想をお願いします。

【市長】

この計画を押し出していく時から、若手職員が集まって色々議論をしてきたので、その後も継続して彼らに肉付けをお願いしました。まだ色々課題はあるのかもしれませんが、パースなどを見ながら職員と議論をしたところ、かなり掘り下げて考えてくれたのだなと感じました。福井は雪が多いため、雪に対する積雪荷重を考えているか話をしたんですが、きちんと計算の中に入っていましたので、安心だなと思っています。

【福井新聞】

中央公園はこれまで積雪、雨天時の雨よけや、太陽光も含めて、日影の問題などもある中で、非常に多くの利用が見込まれるかなと思いますが、これを機に改めて市民の方に、中央公園をどのように利用していただきたいですか。

【福井市長】

「しろあそび」というコンセプトで計画してもらいましたが、中央公園そのものの基本的なコンセプトは、「歴史を感じられる場所」ですので、子どもたちが歴史を感じながらも、未来を切り開いていってくれるような使い方をしていただければ嬉しいです。

【福井新聞】

市民協働除排雪補助金についてお聞きしたいのですが、対象となる路線はどのような路線ですか。

【市長】

今までは、細くて除雪車が入れない市道については、その地区の自治会等で、人力で除雪をしてもらい、その部分に対して、補助金を出す形を行ってきました。

ただ今回の補助金は、本来除雪車が入って除雪をするべき細い市道を、補助金で購入した除雪車等を活用して、除雪をしていただいたら、その分の燃料費等を補助しますというものです。

【福井新聞】

追加で、これは自治会の方が自主的に行うことに対象なのでしょうか。それとも市からお願いをする形になるのでしょうか。

【福井市長】

基本的には、自治会が自主的にやっていただいたことに対して、後で補填をする形を取りたいと思っております。

【福井新聞】

合わせまして、複数の企業と協定を締結して時差出勤などの協力をとということですが、この協定の締結の進捗状況や、今後どれくらいの規模感で結んでいきたいと考えているのか教えていただきたいです。

【福井市長】

多くの企業と一度に協定を結ぶのは難しいと思っています。まずはモデルとして、10件未満ぐらいの企業と締結を結び、問題点等を整理しながら次年度以降につなげていきたいと考えています。

【福井新聞】

すでに企業とは締結済みということですか。

【福井市長】

締結済みの企業もあるかと思います。

【福井新聞】

わかりました。

【福井テレビ】

繰り返して申し訳ないのですが、除雪の件で、今年大雪の予想がされてる中で、この燃料費も補助するという事業をするねらいをもう一度改めて教えてください。

【福井市長】

一番の理想は、除雪が的確に行われることです。これまでの大雪も踏まえ、業者の方とはどのような形で除雪業務を分担するのが良いか、研究や議論を重ね整理してきました

除雪の仕方としては大分いいと思うのですが、大きい通りはすぐ除雪が入るが、中くらいの道路はなかなか除雪されないという課題もあります。その部分への対応として、自治会にフォローしてもらう形で制度を作っていきたいと思っています。これまで除雪車購入の補助を行ってきましたので、これに加え、燃料費も補助することで、除雪車をより活用してもらえ、早く道路の除雪が進むのではないかと考え、できた制度です。

【広報課長】

他に質問がないようですので、これにて市長記者会見を終了いたします。誠にありがとうございました。